

Machida Industry Vision 19-28
チャレンジするなら
T●K●Y●の町●田●から!

町田市産業振興計画 19-28

後期実行計画

町田市

2024年3月

目 次

第1章 「町田市産業振興計画 19-28 後期実行計画」とは	1
1 スケジュール	1
2 「町田市産業振興計画 19-28」の施策体系	1
3 「町田市産業振興計画 19-28」の施策一覧	3
4 推進体制	4
第2章 本計画における取り組み	5
1 「立ち上げる」チャレンジ	5
2 「拡げる」チャレンジ	13
3 「つなぐ」チャレンジ	23
4 ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	33

第1章 「町田市産業振興計画 19-28 後期実行計画」とは

町田市では、技術の革新、消費行動や働き方の変化など、目まぐるしく変化し続ける社会環境の中、今後もビジネスの場や働く場として「選ばれるまち」であり続けるために、10年後、さらにその先の市の姿を見据えた産業振興の方向性を示す「町田市産業振興計画 19-28」を2019年3月に策定しました。

2019年度から2023年度までの前期実行計画では、「立ち上げる」・「拡げる」・「つなぐ」の「3つのチャレンジ」の促進・支援と、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」からなる4つの施策のもと、各種取り組みを推進してきました。

後期実行計画では、町田市の産業を取り巻く状況や、前期実行計画の取り組み状況等を踏まえ、必要な取り組みを推進するため、「町田市産業振興計画 19-28」で目指す将来像の実現に向けて、2024年度から2028年度までの5年間で実施する具体的な事業、スケジュール及び各事業の目標値を示します。

1 スケジュール

2019年度 ~ 2023年度	2024年度 ~ 2028年度
町田市産業振興計画 19-28	
前期実行計画	後期実行計画

2 「町田市産業振興計画 19-28」の施策体系

「町田市産業振興計画 19-28」では、前期実行計画と同様、「立ち上げる」・「拡げる」・「つなぐ」の「3つのチャレンジ」の促進・支援と、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」からなる4つの施策の柱を設け、これらの柱に基づく取り組みを推進することで、＜ビジネスに、働く人に、心地よいまち＞を目指します。

「4つの施策の柱」と目指す姿、及び将来像のイメージ

将来像

ビジネスに、働く人に、心地よいまち

計画全体の指標 付加価値額*1の増加（経済センサスから） 現状値 5,309億円（2021年）
 （参考）前期実行計画策定時 5,416億円（2016年）

目指す姿

たくさんの新しい企業やビジネスが誕生し、起業・創業がしやすい風土が根付いている。

新分野・新技術への進出や異業種間連携等をきっかけに、市内事業者のイノベーションが促進され、自社や地域の強みを生かした他にはない新しい価値が生まれている。

将来を見据えた人材育成と円滑な事業承継により、市内事業者の優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれている。

それぞれのライフスタイルに合った多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人々に選ばれている。町に賑わいがあり、ビジネスに適したまちとして多くの事業者には選ばれている。

指標

開業率*2の上昇
 （経済センサスに基づき算出）

現状値 6.3%（2016年～2021年）
 （参考）前期実行計画策定時 6.4%（2014年～2016年）

指標

1事業所あたりの付加価値額の増加
 （経済センサスから）

現状値 4,960万円（2021年）
 （参考）前期実行計画策定時 5,070万円（2016年）

指標

事業所数の維持
 （経済センサスから）

現状値 11,694事業所（2021年）
 （参考）前期実行計画策定時 12,106事業所（2016年）

指標

昼間人口比率*3の上昇
 （国勢調査から）

現状値 90.3%（2020年）
 （参考）前期実行計画策定時 91.7%（2015年）

施策の柱



『立ち上げる』チャレンジ

新たに事業を立ち上げるチャレンジを支援します。



『拡げる』チャレンジ

事業者が競争力を高めるチャレンジを支援します。



『つなぐ』チャレンジ

事業を継続し、次世代へ承継するチャレンジを支援します。



『ビジネスしやすいまちづくり』

チャレンジを促進するための環境づくりを推進します。

※1：企業の生産活動によって新たに生み出された価値を指す数値。
 ※2：一定期間中に新規に開設された事業所数（年平均）の、期首に存在していた事業所数に対する割合。
 ※3：昼間人口（町田市に常住する人口から町田市外に通勤・通学している人口を除き、市外から通勤・通学して来る人口を加えたもの）を、町田市の夜間人口（町田市に常住する人口）で割った値。これが100%を上回ってれば、通勤・通学のために流出する人口よりも流入する人口が多いまちであり、逆に100%を下回ってれば、流入よりも流出が多いまちということになる。

3 「町田市産業振興計画 19-28」の施策一覧

	施策	個別施策名
1 「立ち上げる」 チャレンジ	(1) 起業・創業の魅力を伝える	①幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信【継続】
		②起業・創業への第一歩を支援【継続】
	(2) 想いを形にするためのサポート	①起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援【継続】
		②起業・創業支援の担い手の拡充【拡充】 (★)
	(3) 起業・創業後の事業拡大を後押し	①起業・創業初期の経営支援【継続】
		②起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援【継続】
2 「広げる」 チャレンジ	(1) 新分野・新技術への進出を後押し	①産業財産権に関する啓発・取得の支援【拡充】
		②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援【拡充】
		③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援【拡充】 (★)
	(2) 独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	①自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援【拡充】
		②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進【継続】
		③営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進【拡充】
	(3) 異業種・異分野との連携による新たな価値の創出	①異業種・異分野との連携機会の創出【継続】
		②連携による新たな価値の創出に関する支援【継続】
	3 「つなぐ」 チャレンジ	(1) 安定した事業継続をサポート
②業務の効率化・生産性向上を促進【拡充】		
③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援【継続】		
(2) 次代を担う人を育てる		①将来を担う人材の確保を支援【拡充】 (★)
		②人材育成やキャリア形成に関する支援【継続】
(3) 円滑な事業承継を推進		①事業承継に対する早期の対策の促進【拡充】
		②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援【継続】
		③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援【継続】

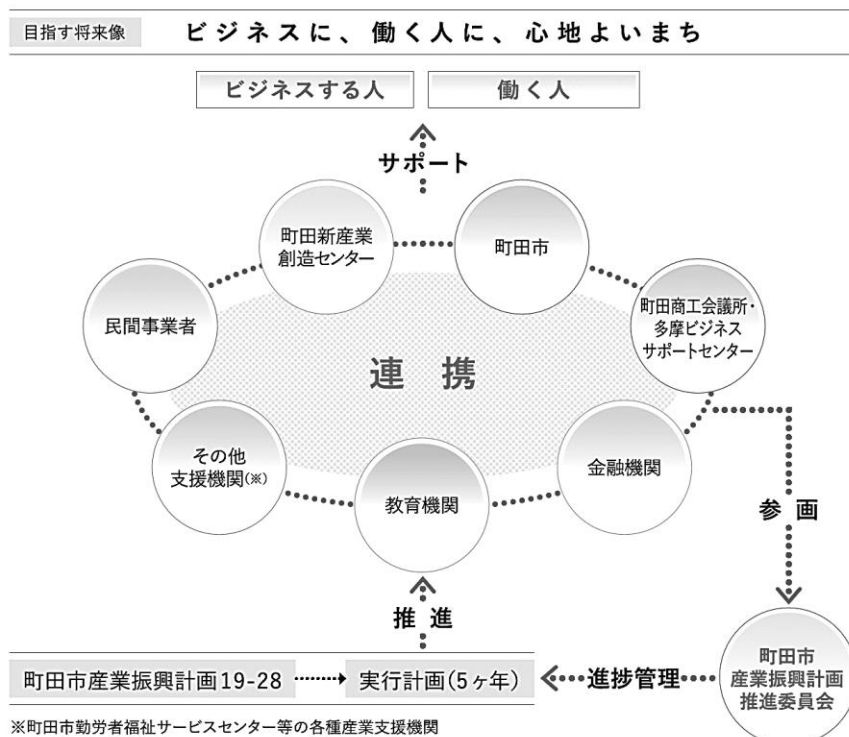
(★) : 新規の取り組みを含む

	施策	個別施策名
4 ビジネスしやすく、 働きやすいまちづくり	(1) 働きやすいまちづくりの 推進	①多様な働き方を実現するための環境づくり【拡充】(★)
		②心地よく働き続けることができる環境づくり【継続】
	(2) 「選ばれるまち」として の魅力を高める	①事業者サポート体制の充実【継続】
		②多様な資金調達の支援【拡充】
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援【継続】
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進【拡充】(★)
		⑤町田で働く魅力の発信【拡充】
	(3) まちの賑わいを生み出す	⑥産業支援に関する有効な情報発信【拡充】(★)
		①コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の 育成支援【継続】
		②町田の産業の魅力発信【継続】

(★) : 新規の取り組みを含む

4 推進体制

計画の推進にあたっては、市に加え、町田商工会議所や町田新産業創造センターを始めとした各産業支援機関、金融機関、大学等の教育機関、民間事業者などが担い手となり、互いに連携しながら各事業に取り組んできました。引き続き、これらの取り組みの円滑な推進と計画の進捗管理を行うため、町田市産業振興計画推進委員会を組織します。



第2章 本計画における取り組み

1 「立ち上げる」チャレンジ



町田市は、全国や東京都と比較して開業率が高く、市内外の多くの方から創業の地として選ばれています。ビジネスを始めるにあたり、「交通利便性や商圈人口の大きさは大切だけど、いきなり都心で起業・創業するのはリスクが大きく、まずは小さく始めたい。」、このような起業・創業ニーズに応えられるまちであることが、多くの方から一歩目を踏み出す場所として選ばれる理由のひとつです。また、商業の他、製造業、IT、サービス業など、多種多様なビジネスや文化が集まる町田市では、自由な発想で新しいチャレンジに挑むことができます。

前期実行計画期間中は、起業・創業の魅力を発信するセミナーやイベント等の実施状況や、「町田創業プロジェクト」による支援状況は目標を上回る成果を上げることができました。また、町田市の開業率（6.3%）は、前回の調査時より0.1ポイント下がったものの、多摩地域の平均と比較しても高い水準にあります。

引き続き、起業・創業に向けたきっかけづくりや、創業の実現のサポート、起業・創業後の事業拡大を後押しすることが必要です。

今後も、新しいチャレンジが生まれやすい環境を生かして経済の新陳代謝を促すことを目指し、新たにビジネスを起こそうとする人材の発掘から、起業・創業の実現、起業・創業後の事業拡大まで切れ目のない支援を行い、事業を“立ち上げる”チャレンジを促進します。

<目指す姿と指標>

“立ち上げる”チャレンジの支援により、たくさんの新しい企業やビジネスが誕生し、起業・創業がしやすい風土が根付いたまちを目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標 「開業率の上昇」

【現状値】 6.3%（2021年）※1

（参考）

【前期実行計画策定時】 6.4%（2016年）※2

（※1） 2016～2021年 新規開設事業所数（年平均）/期首事業所数(2016年事業所数)

（※2） 2014～2016年 新規開設事業所数（年平均）/期首事業所数(2014年事業所数)

＜施策の方向性（１）：起業・創業の魅力を伝える＞

より多くの方に「起業・創業」を働き方の選択肢のひとつとして捉えてもらえるよう、若者や女性、シニア層など幅広い人々が起業・創業に関心を持つためのきっかけづくりを行います。

施策の柱	施策	個別施策名
1. 立ち上げる	(1)	①幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信
		②起業・創業への第一歩を支援

＜施策の方向性（２）：想いを形にするためのサポート＞

「起業・創業したい」という想いを形にするため、これまでに行ってきた「町田創業プロジェクト」等を通じた支援の継続に加え、多様な担い手による支援体制を構築し、事業の構想から実現に至るまで、起業・創業希望者に寄り添ったサポートを行います。

施策の柱	施策	個別施策名
1. 立ち上げる	(2)	①起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援
		②起業・創業支援の担い手の拡充

＜施策の方向性（３）：起業・創業後の事業拡大を後押し＞

起業・創業期の仲間同士が交流できる場づくりや、支援機関と連携した個別課題を解決する支援を行うことで、起業・創業後の事業拡大に必要なアフターフォローを積極的に進めます。

施策の柱	施策	個別施策名
1. 立ち上げる	(3)	①起業・創業初期の経営支援
		②起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援

■取り組みの概要

<目的>

子ども・学生・シニアなどの幅広い世代に向けて、起業・創業の魅力を伝え、関心を高めることにより、市内の創業機運の醸成を図ります。

<内容>

- 潜在的な起業・創業希望者の掘り起こしのため、まちだキッズアントレプレナープログラム^{*1}など、子ども向けの事業を実施します。
- 学生・シニアの方々など幅広い世代に向けて起業・創業の魅力を伝えるセミナーや情報発信を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

<関係団体>

・教育機関 ・金融機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
子ども・シニア向け事業の検討・実施				
起業・創業の魅力発信（セミナーの実施、情報発信）				

■指標

(1) セミナー等の実施回数

現状値 (2022年度)	14回/年	目標値 (2028年度)	12回/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(※1) まちだキッズアントレプレナープログラム：小学校高学年を対象に、起業・創業に必要なチャレンジ精神や創造性、探求心、コミュニケーション力などを育成するプログラム。

■取り組みの概要

<目的>

セミナーや個別相談、創業者との交流を通じ、起業・創業に関心がある方々の具体的な取り組みへの第一歩を後押しします。

<内容>

○起業・創業を希望する方、副業や兼業に関心がある方を対象に、事業計画の作成や資金調達などのニーズに対する個別相談やセミナーを行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

<関係団体>

東京都中小企業振興公社

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
ニーズに沿った起業・創業の支援（個別相談、セミナーの実施）				

■指標

(1) 創業スクールの参加者数

現状値		目標値	
(2019年度 ～2022年度の平均)	192名/年	(2024年度 ～2028年度の累計)	300名(累計)

(2) 女性向けセミナーの参加者数

現状値		目標値	
(2019年度 ～2022年度の平均)	26名/年	(2024年度 ～2028年度の累計)	150名(累計)

■取り組みの概要

<目的>

事業計画の策定や資金調達、開業手続きなど、起業・創業希望者の課題に応じたサポートを行い、起業・創業の実現を支援します。

<内容>

- 起業・創業希望者の課題解決に向けた、個別相談会やセミナーを実施します。
- 町田創業プロジェクト^{*1}による起業・創業希望者への支援を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

- ・町田市（産業政策課）
- ・町田商工会議所
- ・町田新産業創造センター

<関係団体>

- ・金融機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
起業・創業希望者の課題に応じた支援（町田創業プロジェクトによる個別相談、セミナーの実施）				

■指標

(1) 「起業家カード^{*2}」の発行枚数

現状値		目標値	
(2019年度 ～2022年度の平均)	221枚/年	(2024年度 ～2028年度の累計)	1,250枚 (累計)

(2) 町田商工会議所、町田新産業創造センターにおける創業相談件数

現状値		目標値	
(2019年度 ～2022年度の平均)	531件/年	(2024年度 ～2028年度の累計)	3,000件 (累計)

(※1) 町田創業プロジェクト：町田市、町田商工会議所、町田新産業創造センター、BUSO AGORA、金融機関が連携して、起業・創業を支援する取り組み。

(※2) 起業家カード：「町田創業プロジェクト」の特典を利用するための証明書の発行に必要なカード。町田商工会議所、町田新産業創造センター、BUSO AGORAから発行される。

■取り組みの概要

<目的>

「起業・創業者に選ばれるまち」になるため、起業・創業者のサポート体制を強化し、新しいビジネス・事業者が生まれやすい環境を整えます。

<内容>

- 多様化する起業・創業のニーズに応じたきめ細かい支援を実施するため、民間の創業支援機関と連携した事業を行います。また、民間の支援機関同士の連携を促進します。
- 創業支援施設等に対する立地奨励制度を活用し、創業支援施設等の立地を支援します。
- ★創業支援に関する情報発信など、市内コワーキングスペース等と連携した取り組みを行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

<関係団体>

・民間の創業支援機関 ・東京都中小企業振興公社
・コワーキングスペース等

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
民間の創業支援機関同士の連携事業				
創業支援施設等の立地支援				
市内コワーキングスペース等との連携（情報発信等）				

■指標

(1) 民間の創業支援機関同士が連携した事業件数

現状値 (2022年度)	5件/年	目標値 (2028年度)	5件/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) 創業支援施設の立地件数

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	1件（累計）
-----------------	----	-------------------------------	--------

■取り組みの概要

<目的>

多くの起業・創業者にとっての課題である、販路拡大や事業の安定化、経営に必要なノウハウ習得に向けた機会をつくります。

<内容>

- 町田新産業創造センター入居者や、創業スクール等の受講生のマッチングイベント（交流会）を実施します。
- 町田創業プロジェクトを受講された方や事業拡大に伴い町田新産業創造センターを退去された方などが情報交換や事業連携を行える機会を提供し、創業者の支援や創業後のアフターフォローを行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

- ・町田市（産業政策課）
- ・町田商工会議所
- ・町田新産業創造センター

<関係団体>

- ・民間の創業支援機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
マッチングイベントの実施（町田新産業創造センター入居者交流会等）				
創業後のアフターフォローの実施				

■指標

(1) マッチングイベントの実施回数

現状値 (2022年度)	2件/年	目標値 (2028年度)	2件/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) アフターフォローの実施

現状値 (2022年度)	実施	目標値 (2028年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

1 - (3) - ② 起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援 継 続

■取り組みの概要

<目的>

起業・創業後の成長・拡大に必要となる資金調達をサポートします。

<内容>

- 投資家とのマッチングやクラウドファンディングの活用など、事業拡大に向けた多様な資金調達を支援します。
- 起業・創業後、事業継続や事業拡大できるよう、町田創業プロジェクトによる支援を通じ、有利な条件で融資を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課）
・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

<関係団体>

・金融機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
起業・創業後の多様な資金調達の支援（クラウドファンディング活用支援等）				
創業者向け融資の実施				

■指標

(1) クラウドファンディングの支援件数

現状値 (2019年度 ～2022年度の平均)	2件/年	目標値 (2024年度 ～2028年度の累計)	10件（累計）
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

(2) 市の融資制度において創業支援特例^{※1}を受けた件数

現状値 (2022年度)	35件/年	目標値 (2024年度 ～2028年度の累計)	200件 (累計)
-----------------	-------	-------------------------------	--------------

(※1) 創業支援特例：町田創業プロジェクトの支援を受けて、証明書を受け取った場合に適用される創業時の各種優遇措置。

2 「拓げる」チャレンジ

町田市には比較的小規模な事業所が多く、その特徴である機動性を生かしてか、他の企業等との連携が活発に行われています。また、事業者同士だけでなく、事業者と支援機関それぞれが顔の見える関係を構築し、仲間として一緒にステップアップしようという風土が強く根付いています。



前期実行計画期間中は、産業財産権の取得補助やトライアル発注認定といった付加価値向上に向けた支援が目標を上回るとともに、新商品・新サービスの開発補助や各種見本市・展示会等出展支援等の販路拡大に向けた支援に関連する個別施策も目標を上回っています。

一方で、異業種・異分野間の連携による事業化・商品化については、目標未達となっています。

今後も、市内事業者の競争力を強化するとともに、事業から生み出される価値を高めるため、新たな商品・サービスの開発や新事業の展開、販路開拓、異業種・異分野との連携など、事業を“拓げる”チャレンジを支援します。

<目指す姿と指標>

“拓げる”チャレンジの支援により、新分野・新技術への進出や異業種連携が活発化し、これらを通じたイノベーションが促進されることで、自社や地域の強みを生かした、他にはない新しい価値が生み出されるまちを目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標 「1事業所あたり付加価値額の増加」

【現状値】 4,960万円（2021年）

（参考）

【前期実行計画策定時】 5,070万円（2016年）

＜施策（１）：新分野・新技術への進出を後押し＞

新たな商品・サービスの開発や新しいビジネスモデルへのチャレンジを促進するとともに、開発されたアイデアや技術の保護・権利化や有効な活用に向けた支援に取り組みます。

施策の柱	施策	個別施策名
2. 広げる	(1)	①産業財産権に関する啓発・取得の支援
		②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援
		③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援

＜施策（２）：独自の「強み」を磨く取り組みをサポート＞

商品やサービスの知名度・信用力向上に加え、販路拡大の支援をさらに充実させ、町田産の商品・サービスの魅力を多くの方に知っていただき、「町田ブランド」の醸成を促す取り組みを進めます。

施策の柱	施策	個別施策名
2. 広げる	(2)	①自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援
		②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進
		③営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進

＜施策（３）：異業種・異分野との連携による新たな価値の創出＞

連携のための場を提供し、市内・市外を問わず、幅広いリソースを生かしたオープンイノベーションを促進することで、新たな価値の創出に取り組む事業者を支援します。また、開発された商品やサービスの販路拡大を後押しします。

施策の柱	施策	個別施策名
2. 広げる	(3)	①異業種・異分野との連携機会の創出
		②連携による新たな価値の創出に関する支援

■取り組みの概要

<目的>

産業財産権^{※1}の戦略的活用による、他社製品との差別化や、オープンイノベーション^{※2}を活用した開発を推進し、事業者の競争力・付加価値向上を目指します。

<内容>

◎産業財産権を取得する際、費用の一部を補助します。
○日本弁理士会（関東会）等と連携し、事業者等への産業財産権に関する普及啓発事業を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

<ul style="list-style-type: none"> ・町田市（産業政策課） ・日本弁理士会（関東会） ・町田新産業創造センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・町田商工会議所
---	--

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
産業財産権取得に関する費用の補助				
産業財産権に関する普及啓発事業の実施（相談会・セミナー等）				

■指標

(1) 産業財産権取得に対する補助件数

現状値 (2022年度)	28件/年	目標値 (2028年度)	40件/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(2) 普及啓発事業（相談会・セミナー等）件数

現状値 (2022年度)	6件/年	目標値 (2028年度)	5件/年
-----------------	------	-----------------	------

(※1) 産業財産権：特許権、実用新案権、意匠権、商標権

(※2) オープンイノベーション：企業や組織において、外部から技術やアイデア等を取り込むことにより、新しい価値（イノベーション）を作り出すこと。

2 - (1) - ② 環境変化に応じた商業事業者等の

販売促進の支援

拡 充

■取り組みの概要

<目的>

環境の変化に対応しながら、新規の顧客開拓に取り組む事業者を支援することで、市の中心産業である商業・サービス業等の維持・発展を目指します。

<内容>

- 商業事業者等の新規顧客開拓及び売り上げ増進に向け、EC^{※1}サイト、SNSなど多様な販路促進策導入に向けた普及啓発事業を行います。
- 新たな販売手法導入や生産性向上等の各種取り組みを行う事業者を支援します。
- ◎販路拡大支援事業を通じて、新たな商品発掘、販路拡大、商品企業PRの支援を行うとともに、地域循環型経済（ローカルファースト）の推進を図ります。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所

<関係団体>

・町田市商店会連合会
・町田市観光コンベンション協会

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
新たな販売手法（ECサイト、SNSなど）に関するセミナー開催				
新たな販売手法導入支援の実施				
販路拡大支援（カタログギフト）事業の実施				

■指標

(1) 多様な販売手法（ECサイト、SNSなど）に関するセミナー開催件数

現状値 (2022年度)	5件/年	目標値 (2028年度)	5件/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) 新たな販売手法導入支援（デジタルマンツーマン支援等）件数

現状値 (2022年度)	54件/年	目標値 (2028年度)	60件/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(3) カタログギフトへの参加企業数

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	40社/年
-----------------	----	-----------------	-------

(※1) EC (E-commerce) : インターネットを媒介した電子商取引

2 - (1) - ③ 新しいビジネスモデルや新技術の導入に

挑戦する事業者を支援 (★)

拡 充

■ 取り組みの概要

<目的>

時代のニーズを読みながら、新しいビジネス手法や新技術の導入に挑戦する事業者を支援することで、これまでにない価値の創出を推進します。

<内容>

○新しいビジネス手法や新技術の導入を推進するため、セミナー等を開催し、情報提供を行います。

◎事業者が行う新たな商品・サービスの開発及び実証実験に対して支援を行います。

★事業者が新商品の開発や改良等を行うため、研究機関等が保有する研究施設や大型設備機器を利用する場合に補助を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市 (産業政策課) ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

<関係団体>

・教育機関
・研究機関

■ スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供				
開発・実証実験の支援				
研究機関が保有する施設・機器利用補助			補助内容の拡充	

■ 指標

(1) 新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供の実施件数

現状値 (2022年度)	2件/年	目標値 (2028年度)	2件/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) 新商品開発・実証実験の支援件数

現状値 (2022年度)	6件	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	50件 (累計)
-----------------	----	-------------------------------	----------

(3) 機器利用補助件数

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	5件/年
-----------------	----	-----------------	------

2 - (2) - ①

自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援

拡 充

■取り組みの概要

<目的>

市内の事業者が開発する、新規性・有用性のあるオンリーワンの商品・サービスの販路拡大を支援することで、事業者及び市の産業の付加価値の向上を目指します。

<内容>

◎事業者が自ら開発する新規性・有用性の高い新商品・サービスを「トライアル発注認定商品」として認定し、販路拡大や付加価値向上を支援します。
○トライアル発注認定事業者等に対し、販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー等の派遣を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課）

<関係団体>

・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター
・教育機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
町田市トライアル発注認定制度の実施				
ビジネスアドバイザー等の派遣				

■指標

(1) トライアル発注認定商品の認定件数

現状値 (2019年度 ～2022年度の平均)	4件/年	目標値 (2024年度 ～2028年度の累計)	20件(累計)
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

(2) ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数

現状値 (2019年度 ～2022年度の平均)	2件/年	目標値 (2024年度 ～2028年度の累計)	20件(累計)
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

2 - (2) - ② 町田の特色や強みを生かした

商品・サービスの開発、ブランド化の促進 継続

■取り組みの概要

<目的>

町田市のブランド力向上につながる商品やその開発への支援、個性的なお店の発信等を通して、商品及び事業者の販路拡大を図ります。

<内容>

- 町田の特色や農産物を生かした郷土色溢れる個性豊かな食品・お菓子・工芸品等を「町田市名産品」として認定し、市内外へ向けた周知や販路拡大を支援します。
- 高い評価を受けている市内のお店を「町田私の好きなお店大賞」に選定し、市内外へ向けた周知や販路拡大を支援します。
- 「まちだシルクメロン」等、市内の特産品等を活用した商品開発を支援します。また、開発された商品を認定し、販路拡大を支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

- ・町田市名産品等推奨委員会
- ・まちだ名産品のれん会 ・町田商工会議所
- ・町田市（産業政策課、農業振興課）

<関係団体>

- ・町田市観光コンベンション協会
- ・町田市商店会連合会

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	名産品認定			名産品認定
お店大賞の選定				
特産品等を活用した商品開発支援				

■指標

(1) まちだ名産品のれん会^{※1}のイベント出店件数

現状値 (2022年度)	5件	目標値 (2028年度)	12件
-----------------	----	-----------------	-----

(2) 町田私の好きなお店大賞投票数

現状値 (2022年度)	1,999票/年	目標値 (2028年度)	3,000票/年
-----------------	----------	-----------------	----------

(3) まちだシルクメロン等特産品を活用した商品数

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	3件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	15件(累計)
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

(※1) まちだ名産品のれん会：町田市名産品の認定事業者からなる組織。町田市名産品の品質向上とPRを目的とし、研修会や市内外でのイベント販売、販売促進活動等を行っている。

2 - (2) - ③ 営業支援や展示会出展支援を通じた

販路拡大の促進

拡 充

■取り組みの概要

<目的>

事業者が商品・サービスを積極的に国内外へ売り出すための支援を行い、販路拡大や連携先の発掘・強化を目指します。

<内容>

◎事業者が各種見本市や展示会に出展する際の経費に対する補助等を行います。
○トライアル発注認定事業者等に対し、販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー等の派遣を行います。【再掲】

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課）

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
各種見本市・展示会への出展支援				
ビジネスアドバイザー等の派遣【再掲】				

■指標

(1) 各種見本市・展示会等出展支援件数

現状値 (2022年度)	27件/年	目標値 (2028年度)	30件/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(2) ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数【再掲】

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	2件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	20件(累計)
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

■取り組みの概要

<目的>

業種や分野の領域を超えて、事業者や学生等が共創する場を設けることにより、オープンイノベーションの促進による新たな価値の創造を目指します。

<内容>

○日常では接触機会が少ない事業者（例：商工業者と農業者等）同士のマッチングや情報交換を図るため、関係機関と協力しながら異業種・異分野との連携促進を目的とした交流会を開催します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課、農業振興課）
・町田新産業創造センター

・町田商工会議所
・町田市農業協同組合

<関係団体>

・教育機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
異業種・異分野間の交流会開催				

■指標

(1) 交流会の開催回数

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	8件/年	目標値 (2028年度)	8件/年
--------------------------------------	------	------------------------	------

■取り組みの概要

<目的>

異業種・異分野間での連携による新たな商品・サービスの開発に関する取り組みを支援することで、新たな価値の創出を目指します。

<内容>

○異業種・異分野間での連携により、新たな価値を持つ商品・サービスを開発する取り組みを支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
異業種・異分野間の連携による新たな商品・サービス開発の支援				

■指標

(1) 異業種・異分野連携による新商品・新サービス開発の相談・補助件数

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	3件(累計)
-----------------	----	-------------------------------	--------

3 「つなぐ」チャレンジ



町田市では毎年、新たな事業所が数多く立ち上がる一方で、現状ではそれを上回る数の事業所が廃業しています。市内産業の活力を維持・向上させるためには、起業・創業の促進や競争力の強化だけでなく、これまで市の産業を支えてきた事業者が、より良い状態で事業を続け、次世代へ事業をつないでいくことが重要です。

前期実行計画期間中は、事業継続や事業承継の支援を進めてきましたが、一部の個別施策では目標未達となっています。また、社会経済状況の変化に対し、家賃補助事業や原油価格等高騰対策事業等を通じ、臨時的に事業継続支援に取り組んできました。引き続き、市内産業を巡る状況変化を注視しながら、適切に対処することが必要です。

今後も、支援機関同士が連携して、生産性の向上や人材の確保・育成等による経営の安定化、経営基盤の強化、円滑な事業承継等を支援することで、事業を次世代に“つなぐ”チャレンジを促進します。

<目指す姿と指標>

“つなぐ”チャレンジの支援により、市内事業者の将来を見据えた人材育成と円滑な事業承継が行われ、優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれているまちを目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標 「事業所数の維持」

【現状値】 11,694事業所（2021年）

（参考）

【前期実行計画策定時】 12,106事業所（2016年）

＜施策（１）：安定した事業継続をサポート＞

事業者のニーズに応じながら経営状態の改善と安定化を図るため、経営相談による個別の課題解決に取り組むとともに、業務改善の取り組みやICT等の先端設備導入を支援します。

施策の柱	施策	個別施策名
3. つなぐ	(1)	①コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援
		②業務の効率化・生産性向上を促進
		③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援

＜施策（２）：次代を担う人を育てる＞

人口が減少していく社会の中では、これまでの支援に加え、人材を経営資源の重要な要素と捉え、更なる取り組みが求められます。今後も市内の事業者が安定して事業を継続していけるよう、必要な人材の確保・育成に向けた取り組みを支援します。

施策の柱	施策	個別施策名
3. つなぐ	(2)	①将来を担う人材の確保を支援
		②人材育成やキャリア形成に関する支援

＜施策（３）：円滑な事業承継を推進＞

市が中心となり、町田商工会議所（多摩ビジネスサポートセンター）、町田新産業創造センター、金融機関等がネットワークを構築し、情報発信や相談対応、マッチング、承継手続きのサポートなど、それぞれの専門分野を生かして、きめ細やかな支援を行います。

施策の柱	施策	個別施策名
3. つなぐ	(3)	①事業承継に対する早期の対策の促進
		②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援
		③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援

■取り組みの概要

<目的>

事業者のニーズや悩みに応じた経営支援を行うことで、コスト削減や売り上げ向上を図ります。

<内容>

- 町田商工会議所経営指導員による巡回・窓口相談を実施し、事業者の経営改善を図ります。
- 年間を通じて経営、税務、労務、情報などに関する様々な講習会を開催し、事業に必要な情報を提供します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田商工会議所

<関係団体>

・町田市（産業政策課）

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
町田商工会議所経営指導員による巡回・窓口相談				
経営・税務・労務等講習会の開催				

■指標

(1) 町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談件数

現状値 (2022年度)	3,054件/年	目標値 (2028年度)	3,200件/年
-----------------	----------	-----------------	----------

(2) 町田商工会議所経営講座の受講者数

現状値 (2022年度)	2,207人/年	目標値 (2028年度)	2,500人/年
-----------------	----------	-----------------	----------

■取り組みの概要

<目的>

I C T、I o T、A I 等を用いた最新の設備や機器の導入を促進することで、事業者の生産性を高めます。

<内容>

- 事業者の業務の効率化を目指し、国税電子システム・納税システム（e - t a x）活用支援や、I C Tの専門家や関連事業者と中小企業のマッチングを行います。
- 中小企業等経営強化法に基づき、事業者の生産性向上に資する「先端設備等導入計画^{*1}」を認定し、固定資産税を軽減する等の支援を行います。
- ◎社会の変化に対応し生産性向上を図るため、事業者のD X、G X化を支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
e - t a x 活用支援				
「先端設備等導入計画」の認定				
D X、G X化の支援				

■指標

(1) e - t a x 活用支援件数

現状値 (2022年度)	114件/年	目標値 (2028年度)	150件/年
-----------------	--------	-----------------	--------

(2) 「先端設備等導入計画」認定件数

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	16件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	80件(累計)
-------------------------------	-------	-------------------------------	---------

(※1) 先端設備等導入計画：中小企業者が一定期間内に、労働生産性を一定程度向上させるために策定する計画。計画が市の認定を受けると、新規取得設備に係る固定資産税が「3年間2分の1」になる等の優遇措置が受けられる。

■取り組みの概要

<目的>

事業を安心・安定して継続できるよう、事業者の個別課題の解決支援や、非常時における事業の維持への対策を促進します。

<内容>

- 経営課題・相談ニーズに応じて、個別事業者の課題に対応するため、専門家による個別相談会を開催します。
- 台風・地震等の非常時における事業の維持に向け、事業者の危機管理対策を支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
経営課題等に応じた専門家個別相談会の開催				
危機管理対策支援				

■指標

(1) 町田商工会議所専門相談の相談者数

現状値 (2022年度)	273人/年	目標値 (2028年度)	300人/年
-----------------	--------	-----------------	--------

(2) 危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ等の実施件数

現状値 (2022年度)	3件/年	目標値 (2028年度)	1件/年
-----------------	------	-----------------	------

3 - (2) - ① 将来を担う人材の確保を支援 (★)

拡 充

■取り組みの概要

<目的>

円滑な人材採用・人材確保に向けた取り組みを支援し、安定した事業継続を後押しします。

<内容>

- 国や東京都と連携して就職面接会や採用相談会等を開催します。
- 従業員の活力向上や組織の活性化のため、戦略的に従業員の健康管理や定着促進等に取り組む事業者を支援します。
- ◎奨学金返還など人材確保・定着に向けて取り組みを行っている市内事業者への支援を拡充します。
- ★市内事業者の人材確保支援のため「合同企業説明会」を実施します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所

<関係団体>

・（公財）東京しごと財団
・東京しごとセンター多摩 ・ハローワーク町田

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
就職面接会、採用相談会等の開催				
健康経営に関する周知	健康経営事業所の支援			
人材確保・定着に向けた支援の検討	人材の定着に向けた支援の拡充			

■指標

(1) 健康経営に関する情報提供の実施

現状値 (2022年度)	1回/年	目標値 (2028年度)	1回/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) 就職面接会、採用相談会等の参加者数

現状値 (2022年度)	187人	目標値 (2028年度)	250人/年
-----------------	------	-----------------	--------

■取り組みの概要

<目的>

事業者の生産性向上や将来の事業拡大・継続のため、優良な人材の育成を支援します。

<内容>

- 新入社員研修やスキルアップ研修を通して、従業員の人材育成やキャリア形成を支援します。
- 若手経営者同士の交流や勉強会等を通して、後継者育成を支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田商工会議所

<関係団体>

・町田市（産業政策課）

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
キャリア形成、人材育成のための研修の実施				
後継者育成に向けたセミナー等の実施				

■指標

(1) キャリア形成・人材育成研修の開催回数

現状値 (2022年度)	1回/年	目標値 (2028年度)	1回/年
-----------------	------	-----------------	------

(2) 後継者育成に向けたセミナー等の開催

現状値 (2022年度)	1回/年	目標値 (2028年度)	1回/年
-----------------	------	-----------------	------

■取り組みの概要

<目的>

経営者に対して、可能な限り早い段階から事業承継の意識づけや啓発を進めることで、事業承継への早期の準備を促進します。

<内容>

- ◎事業承継の早期準備の必要性・重要性を市内事業者に促すため、事業承継推進ネットワークによるセミナーや相談会を実施します。
- 事業承継期にある経営者に対してアンケート調査を実施し、市内の事業承継の状況把握を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

- ・町田市（産業政策課）
- ・町田商工会議所（多摩ビジネスサポートセンター）
- ・町田新産業創造センター ・金融機関
- ・東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
事業承継推進ネットワークによる早期準備への啓発事業の実施				
			アンケート調査	

■指標

(1) 事業承継推進ネットワークによる事業の実施件数

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	2件/年
-----------------	----	-----------------	------

(2) 事業承継アンケート調査の実施

現状値 (2022年度)	実施	目標値 (2027年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

3 - (3) - ② 事業承継や後継者育成に関する

ニーズに応じた支援

継 続

■取り組みの概要

<目的>

個別の事業承継に関するニーズや課題に応じた支援を行うことで、円滑な事業承継の推進による事業所数の維持を目指します。

<内容>

- ネットワーク構成機関を中心とした事業承継支援の担い手が、それぞれの強みを生かし、事業者の承継完了に向け、個々の事情に応じた支援を行います。
- 若手経営者同士の交流や勉強会等を通して、後継者育成を支援します。【再掲】

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

<ul style="list-style-type: none"> ・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所（多摩ビジネスサポートセンター） ・町田新産業創造センター ・金融機関 ・東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター 	
---	--

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
個別ニーズに対するネットワークによる支援（相談事業の実施）				
後継者育成に向けたセミナー等の実施【再掲】				

■指標

(1) 事業承継推進ネットワークによる事業の実施件数【再掲】

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	2件/年
-----------------	----	-----------------	------

(2) 後継者育成に向けたセミナー等の開催【再掲】

現状値 (2022年度)	1回/年	目標値 (2028年度)	1回/年
-----------------	------	-----------------	------

3 - (3) - ③ 事業承継マッチングや

事業承継手続きに関する支援

継 続

■取り組みの概要

<目的>

実際に事業承継のタイミングを迎えた事業者に対し、適切な資金調達やマッチングの支援をすることで、承継後のスムーズな事業展開を目指します。

<内容>

- 事業承継の際に必要な資金の調達や設備の更新等に対する支援を行います。
- 親族内・事業所内の承継から、起業・創業希望者等を含む外部の第三者による承継（M & A 等）まで、事業者の承継完了に向けた支援を行います。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

- ・町田市（産業政策課）
- ・町田商工会議所（多摩ビジネスサポートセンター）
- ・町田新産業創造センター ・金融機関
- ・東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
事業承継に関する市の融資制度及び補助制度の運用				
ネットワークの支援による事業承継支援・マッチング				

■指標

(1) 事業承継に関する市の融資制度及び補助制度の活用件数

現状値 (2022年度)	1件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	10件(累計)
-----------------	------	-------------------------------	---------

(2) ネットワークの支援による市内事業者の事業承継完了件数

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	10件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	63件(累計)
-------------------------------	-------	-------------------------------	---------

4 ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり

多くの商業施設で賑わう中心市街地等の駅前空間と、緑豊かな公園や里山が共存する町田市は、都心の賑わいを楽しみながら、自然を感じて伸び伸びと生活できるまちです。学校教育や子育て支援も充実し、近年は0～14歳の転入超過数が全国で上位となるなど、ファミリー世代にも選ばれています。一方で、高校や大学を卒業したタイミングで多くの若者が市外に流出しているという現実もあります。



前期実行計画期間中は、コロナ禍の影響により、目標未達となった個別施策がありません。シェアオフィス等の立地件数が大幅に増加していることから、多様な働き方ができる環境について情報発信するなど、市内における事業活動を促進することが必要です。また、イベント来場者数はコロナ禍の影響により当初設定した目標を下回っているため、商店会への支援やイベントの開催等を通じ、まちの賑わいにつなげることが必要です。

子育てと仕事の両立、仕事とプライベート双方の充実、副業へのチャレンジなど、働き方が多様化する時代の中で、良好な住環境が近くにあることは、ビジネスをする場としても、働く場としても大きな強みです。多様なライフスタイルを実現するのに「ちょうどいい」まちという環境を生かし、ビジネスしやすさと働きやすさの更なる向上を図ることで、事業者や働く人のさまざまな“チャレンジ”を促進するための土台づくりを進めます。

<目指す姿と指標>

“ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり”の推進により、個人のライフスタイルに合わせた多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれるまちを目指します。また、賑わいにあふれ、ビジネスに適した環境として、多くの事業者から選ばれるまちを目指します。

目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標 「昼夜間人口比率の上昇」

【現状値】 90.3% (2020年)

(参考)

【前期実行計画策定時】 91.7% (2015年)

<施策（１）：働きやすいまちづくりの推進>

幅広い世代が働きやすい環境づくりに向け、テレワークや在宅ワークを始めとした多様な働き方を推進するとともに、市内で働く方が今後も安心して働き続けることができるよう、中小企業の従事者に対し、福利厚生や相談の場を提供します。

施策の柱	施策	個別施策名
4. まちづくり	(1)	①多様な働き方を実現するための環境づくり
		②心地よく働き続けることができる環境づくり

<施策（２）：「選ばれるまち」としての魅力を高める>

多くの事業者から「ビジネスしやすいまち」として選ばれるために、資金調達の支援や産業支援情報の発信等、事業者のサポート体制を強化します。また、町田の特色や強みを生かした事業所の集積等、町田市に事業所を構えたい事業者や、事業の拡大や継続にハードルを感じている事業者への支援を行います。

さらに、市内で働く魅力を感じてもらえることができるよう、市内事業者を知ってもらう機会の提供や、生活の場と働く場を近付けることによるメリットや魅力の発信に取り組みます。

施策の柱	施策	個別施策名
4. まちづくり	(2)	①事業者サポート体制の充実
		②多様な資金調達の支援
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進
		⑤町田で働く魅力の発信
		⑥産業支援に関する有効な情報発信

<施策（３）：まちの賑わいを生み出す>

個別の商店街の特徴を踏まえ、それぞれの魅力を高める取り組みを推進します。また、「キラリ☆まちだ祭」等のイベント開催や情報発信を通じ、町田市の産業の魅力や活力を広くPRすることで、まちなかの賑わいを創出します。

施策の柱	施策	個別施策名
4. まちづくり	(3)	①コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる 「商店街」の育成支援
		②町田の産業の魅力発信

4 - (1) - ① 多様な働き方を実現するための環境づくり (★) 拡 充

■取り組みの概要

<目的>

良好な住環境を生かし、それぞれのライフスタイルに応じた多様な働き方を推進することで、子育て世代やシニアなど、幅広い世代が「働きやすい」環境をつくります。

<内容>

- ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む市内の事業所を支援します。
- 事業者や働く人に向けたセミナー等の開催や、働き方に関する情報提供などを通して、子育て世代やシニア人材の活躍を促進します。
- ★市内のコワーキングスペース等の情報を発信します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市
(産業政策課、男女平等推進センター)

<関係団体>

- ・町田商工会議所
- ・東京都労働相談情報センター八王子事務所
- ・八王子労働基準監督署町田支署
- ・ハローワーク町田

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
ワーク・ライフ・バランスの推進				
事業者や働く人に向けたセミナー等の開催、働き方に関する情報提供				
市内コワーキングスペース等の情報発信				

■指標

(1) 労働関連セミナー等の参加者数 (市内開催)

現状値 (2022年度)	339人/年	目標値 (2028年度)	450人/年
-----------------	--------	-----------------	--------

(2) 市内コワーキングスペース等の情報発信

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

■取り組みの概要

<目的>

働く人の不安を解消し、長期にわたって心地よく働くことができる環境を整えます。

<内容>

○中小企業の従事者に対する福利厚生や、従業員のための相談の場を提供します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

- ・町田市(産業政策課)
- ・一般財団法人町田市勤労者福祉サービスセンター

<関係団体>

- ・東京都労働相談情報センター八王子事務所
- ・八王子労働基準監督署町田支署
- ・ハローワーク町田

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
中小企業の従事者に対する福利厚生の提供				
従業員のための相談の場の提供				

■指標

(1) 町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数

現状値 (2022年度)	739事業所	目標値 (2028年度)	739事業所
-----------------	--------	-----------------	--------

■取り組みの概要

<目的>

産業振興計画を着実に推進していくための体制を強化します。

<内容>

○支援情報の提供や、各種書類の作成支援など、「経営のかかりつけ医」として支援を行うため、市と産業支援機関、金融機関等に加え、士業団体等と連携し、事業者をサポートします。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

・金融機関
・士業団体

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
経営課題等に応じた専門家個別相談会の開催【再掲】				

■指標

(1) 町田商工会議所専門相談の相談者数【再掲】

現状値 (2022年度)	273人/年	目標値 (2028年度)	300人/年
-----------------	--------	-----------------	--------

■取り組みの概要

<目的>

市内の事業者が事業を行っていく上で必要となる資金を円滑に調達するための支援を行うことで、事業者の負担軽減を図ります。

<内容>

- 町田市中小企業融資制度及び小規模事業者経営改善資金利子補助制度に基づき、金融機関から融資を受けた際の利子の一部を補助します。
- ◎事業者のニーズに応じて、利子補助制度の見直しと拡充を図ります。
- 投資家とのマッチングやクラウドファンディングの活用など、事業拡大に向けた多様な資金調達を支援します。【再掲】

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市(産業政策課) ・町田新産業創造センター

<関係団体>

・町田商工会議所 ・金融機関

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
町田市中小企業融資制度の運用				
制度の見直しと拡充の検討及び実施				
多様な資金調達の支援(クラウドファンディング活用支援等) 【再掲】				

■指標

(1) 市の融資制度において創業支援特例を受けた件数【再掲】

現状値 (2022年度)	35件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	200件(累計)
-----------------	-------	-------------------------------	----------

(2) クラウドファンディングの支援件数【再掲】

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	2件/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	10件(累計)
-------------------------------	------	-------------------------------	---------

4 - (2) - ③ 市内におけるオフィスや工場の

新設・規模拡大を支援 継 続

■取り組みの概要

<目的>

市内への新規事業所の立地、起業・創業者を含む市内事業者の設備投資や市内定着を促進することで、事業所数の維持・増加を目指します。

<内容>

- 市内の事業所数や市税の増収に向け、市の立地や業種の集積等の特性に応じた企業誘致を推進します。
- 起業・創業者を含む既存の事業者が市内で事業を発展的に継続できるよう、事業所の増設や移転、操業環境の改善・向上に向けた取り組みを支援します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課）

・町田新産業創造センター

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
企業立地の促進				

■指標

(1) 企業等立地件数

現状値 (2019年度 ~2022年度の平均)	1事業者/年	目標値 (2024年度 ~2028年度の累計)	10事業者(累計)
--------------------------------------	--------	--------------------------------------	-----------

4 - (2) - ④ 町田の特色や強みを生かした

事業者の集積を促進 (★)

拡 充

■取り組みの概要

<目的>

国際的なイベント開催、交通網の整備に伴うハードの整備など、外部環境の変化をチャンスと捉えた各種支援施策を推進することで、町田市ならではの事業所の集積を進めます。

<内容>

○多摩都市モノレールの延伸に伴うハードの変化を契機とした新たなビジネス集積や観光需要に対応し、個性的な個人商店等、魅力的な事業者の立地を促進します。

★市内のコワーキングスペース等の情報を発信します。【再掲】

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所

・町田市観光コンベンション協会

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
事業者の立地促進				
市内コワーキングスペース等の情報発信【再掲】				

(1) 市内コワーキングスペース等の情報発信【再掲】

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

■取り組みの概要

<目的>

町田で育ち、町田で学ぶ若者に対し、町田で働く楽しさや面白さを伝えることで、市内企業への就職や市内での起業・創業を促進します。

<内容>

- 潜在的な起業・創業希望者の掘り起こしのため、まちだキッズアントレプレナープログラムなど、子ども向けの事業を実施します。【再掲】
- 学生を対象としたインターンシップや出張授業等を実施します。
- ◎表彰対象者等を拡充し、市内中小企業の魅力を発信します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

・町田市（産業政策課） ・町田新産業創造センター

<関係団体>

・町田商工会議所 ・ハローワーク町田

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
子どもや学生を対象とした職業体験等の実施				
表彰基準の見直し	見直した基準による表彰の実施			

■指標

(1) 子どもや学生を対象とした職業体験等の実施回数

現状値 (2022年度)	14回/年	目標値 (2028年度)	12回/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(2) 拡充した表彰制度の実施

現状値 (2022年度)	なし	目標値 (2028年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

■取り組みの概要

<目的>

事業者のニーズやタイミングに応じて有効に活用できる支援情報やデータを収集・発信することで、事業の円滑な推進や成長を支援します。

<内容>

○事業者が支援情報に気軽にアクセスでき、支援機関からの情報をタイムリーに受け取ることができる媒体として、SNS等を活用した情報発信を行います。

★社会状況等の変化から生じた、町田市産業を取り巻く課題を把握し、適切に対応するため、地域経済現況調査を実施します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所
・町田新産業創造センター

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
SNS等を活用した情報発信				
調査の試行実施	地域経済現況調査の実施			

■指標

(1) SNS等を活用した情報発信

現状値 (2022年度)	実施	目標値 (2028年度)	実施
-----------------	----	-----------------	----

4 - (3) - ① コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる
「商店街」の育成支援

継 続

■取り組みの概要

<目的>

欲しいものを買うだけでなく、そこでしか出来ない体験ができ、特別な時間を過ごすことができる場として、商店街の魅力向上や来街者増加を目指します。

<内容>

- 商店会が主体となるイベントの開催やまちなみの整備、情報発信の強化等に対する支援を行います。
- 町田市内の店舗の利用促進と認知度の向上、歳末期にあわせた売上の向上を図るため、商店街スタンプラリーを実施します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

・町田市（産業政策課） ・町田市商店会連合会

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
商店会のイベント・ハード整備等に対する支援				
商店街スタンプラリーの実施				

■指標

(1) 商店会のイベント・活性化等事業数

現状値 (2022年度)	40件/年	目標値 (2028年度)	46件/年
-----------------	-------	-----------------	-------

(2) 商店街スタンプラリーへの参加者数

現状値 (2022年度)	5,814人	目標値 (2028年度)	7,000人
-----------------	--------	-----------------	--------

■取り組みの概要

<目的>

市の産業の魅力をより多くの方に感じていただけるよう、町田駅周辺等で各種のイベントを開催し、商工業、農業を中心とした産業全体をPRします。

<内容>

○町田市の産業をPRするイベント（「キラリ☆まちだ祭^{※1}」等）を開催します。

★=新規 ◎=拡充 ○=継続

<実施主体>

<関係団体>

- | | |
|-------------------|------------|
| ・町田市（産業政策課、農業振興課） | |
| ・町田商工会議所 | ・町田市農業協同組合 |

■スケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
「キラリ☆まちだ祭」等の開催				

■指標

(1) イベント（「キラリ☆まちだ祭」等）の来場者数

現状値 (2022年度)	80,126人/年	目標値 (2028年度)	150,000人/年
-----------------	-----------	-----------------	------------

(※1) キラリ☆まちだ祭：市内の地域資源や農作物、工業製品・サービス等、町田市の魅力と活力を多くの市民にPRすることを目的とし、年1回町田駅周辺で開催する農業と産業のフェスティバル

町田市産業振興計画 19-28 後期実行計画

2024 年 3 月発行

発	行	者	町田市
			〒194-8520 町田市森野 2-2-22
編	集		経済観光部産業政策課
印	刷		株式会社日本経済研究所
刊	行	物	番号 23-74



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。